

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム白梅の里

作成日：平成23年11月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	(1)	・理念の共有と実践 現状に即したケア指針を具体化する事等の検討	職員勤務体制の見直し	重度化・高齢化に伴い勤務体制(3人→4人)を変更し、日々の介護・介助に努める。	1ヶ月
2	(2)	・事業所と地域とのつきあい	職員と地域との交流	職員と地域との交流を図る為、施設近隣の道路掃除等を職員2名で、月2回(1日、15日)行うと共に、地域との交流の場を作る。	1ヶ月
3	(3)	・運営推進会議を活かした取組み	議題等の見直し	昨年同様の課題だった為、今後の課題の見直し、課題の選定を図る。 (例)災害訓練時の参加であった、訓練後の課題についての反省を交えた話し合い等にする。	3～4ヶ月
4	(6)	・運営に関する利用者ご家族等意見の反映	ご利用者ご家族様の意見の反映	今回家族会時、ケアマネ立合いで、ご家族様だけの意見交換を行っている。今後も意見交換を設け、今後、ご家族様の意見を真摯に受け止め業務に努める。ご利用者様を中心に日々楽しい、安心安全な住環境を目指す。	1ヶ月
5	(13)	・災害対策について	食料等の備蓄	食料等の備蓄は行っているが、飲料水も含め備蓄を行う。	1ヶ月
6	(15)	・食事を楽しむことのできる支援	ご利用者様と職員との楽しい食卓囲み	ご利用者と職員との会話(好きな食べ物、本日の料理の評価等)をしながら、認知症の原点に立ち楽しく食事が出来るよう支援する。	1ヶ月

7	(17)	・入浴を楽しむことができる支援	浴室等の清掃品の整理整頓	清掃品等、所定の場所(位置)の配慮に基づき、収納し整理整頓に努める。	1ヶ月
8	(19)	・居心地の良い共有空間作り	掲示物等の定期的な見直し	掲示物は、定期的(3ヶ月位)に見直し、季節ごとに、ご利用者・来訪者に楽しんで頂ける様飾りつけを行う。また、勤務職員氏名が分かるよう入口に掲示を行う。(済み)	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。